

令和4年度

地域からゼロカーボンを考える

気候変動への対策が世界全体の大きな課題となっています。2050年までに脱炭素社会を実現するためには、住民、事業者、行政などあらゆる主体が一丸となり社会全体で取り組むことが不可欠です。特に脱炭素化に向けた再生可能エネルギー等新たな地域資源の活用は、地域経済の循環にもつながり、地域の持続可能性を高める取組として期待されています。この研修では、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の活用や課題などについて学びます。

開催要領

日 程 令和4年10月12日(水)～10月14日(金)(3日間)

場 所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象 再生可能エネルギーの活用・見直しを検討している市区町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 30人
募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限内に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費 10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和4年8月26日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

10月
12日(水)

- 11:00~ 入寮受付・昼食
- 12:30~ 開講・オリエンテーション
- 13:00~14:00 **講義** どうやって、ゼロカーボン地域づくりを進めていくか
環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長 兼 地域脱炭素創生室長 福嶋 慶三 氏
カーボンニュートラル社会の実現に向けた、脱炭素地域づくりが急務です。では、どのように地域での取組を進めていくか。政府や自治体の取組例、法改正や支援メニューなど、そのヒントとなるお話をいただきます。
- 14:15~16:30 **演習** カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験
環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長 兼 地域脱炭素創生室長 福嶋 慶三 氏
株式会社プロジェクトデザイン 富山オフィスマネージャー 竹田 法信 氏
2050年のカーボンニュートラルの実現を目指すゲーム体験と、その後のワークショップを通じて、脱炭素社会づくりについての気づきや学び、連携や協働の重要性などを体感します。
- 16:45~17:30 **意見交換会** 受講者同士で、脱炭素化の取組の中で現在抱えている地域課題について意見交換をします。
- 18:00~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和4年

10月
13日(木)

- 9:25~10:35 **事例紹介** 地域新電力によるエネルギーの地産地消
株式会社中之条パワー 代表取締役 山本 政雄 氏
全国で初めて設立された自治体による地域新電力の立ち上げについて、その経緯や住民との合意形成、取組について苦労されたこと、現在の課題や今後の展望等についてお話しいただきます。
- 10:50~12:00 **事例紹介** 住民主体の脱CO₂まちづくり
近江八幡市桐原学区協働まちづくり協議会桐原コミュニティセンター長 馬場 清一 氏
滋賀県議会議員 重田 剛 氏
まちづくり協議会が主体となり、CO₂ネットゼロに向け地域住民ひとりひとりが地球温暖化を自分ごととして捉えられるよう、暮らしの中に意識定着させる住民主体の取組(令和3年度しがCO₂ネットゼロみらい賞地域づくり部門受賞)についてお話しいただきます。また、滋賀県での琵琶湖・CO₂ネットゼロ対策の取組についても併せてお話しいただきます。
- 13:00~14:10 **事例紹介** EVを活用したエネルギーマネジメントの取組
小田原市環境部ゼロカーボン推進課エネルギー事業推進係 主査 倉科 昭宏 氏
東日本大震災により地域エネルギーに大きな打撃を受けたことを機に再生可能エネルギー事業に積極的に取り組まれるようになりました。その中でも特にEVを活用したエネルギーマネジメントの取組等についてお話しいただきます。
- 14:25~17:00 **講義・演習** 地域からゼロカーボンを考える(課題演習導入講義)
特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
地域における持続的な再生可能エネルギーや自治体政策の必要性和その手法等について網羅的に話しいただき、課題演習の導入講義をいただきます。また、グループに分かれて再生可能エネルギーにおける課題演習に取り組みます。
- 9:25~12:00 **演習・発表・講評** 課題演習
特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
前日に引き続き、自治体の再生可能エネルギーにおける課題演習について取り組みます。その後発表し、講師から講評をいただきます。
- 13:00~14:10 **総括講義** ふりかえりとまとめ
特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏
3日間の研修をふりかえり、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の活用や課題などについてポイントを整理し、総括的なまとめを行っていただきます。
- 14:10~14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和4年

10月
14日(金)

●本研修の事例紹介については、特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

●研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。